

## 編集後記

横幹本号の経営高度化に関する小特集を企画した立場から少し記載させて頂く。小生、2008年8月、横幹連合より経営高度化プロジェクトが、横幹協議会と横幹連合との共通の課題であり、どのような研究が企図できるか企画案を出せとの突然の依頼を受けた。30代の頃、TQC指導で工場や本社に行き、経営幹部や一流技術者と言われる方々は流石だなという感触は持ったことがある。その後、筑波大のビジネススクールに10年以上勤務し、経営学の先生方とも交流は深め、こういう風に理論武装するものかと感心したことも度々である。しかし、自分自身は基本的に「科学の文法」を信奉する統計家であり、それ以上のものではない。筑波大の同僚や学会の諸先輩に支えられ何とか1年間「経営高度化」横幹フォーラムを続け、若干スタミナ切れの中で日本経営工学会を中心とする調査研究委員会にパトタッチするに至った。専門分野の研究者に引き継いだことは、何よりのことである。実際には、統計家特有の野次馬根性が邪魔をして、次の調査研究委員会にも迷いこんでいる今日この頃であ

る。ただ、人文社会科学としての経営学の形式知と、経営現場の暗黙知とが、横幹連合が得意とするシステム学(コト)との知を通じて、より高い次元の経営と知の営みを生みだせればと、心から期待しているのである。本特集は、この1年の横幹フォーラムを振り返り、3名の講演者の方々からご自身の研究や問題意識を改めて執筆頂くと共に、調査研究委員会有志が今後の研究についてもその方向性を執筆した。さて、本号には、本特集以外にも、木村会長、原山副会長のまさに行動する横幹連合としての力強いメッセージなども寄稿されている。本号読者の皆様方には、会員学会に属する多くの研究者、実務家、学生の方々にも横幹連合の様々な活動、提言について語るときの題材として頂ければ幸甚である。

末筆ながら、本号への寄稿とこの1年の横幹フォーラムにご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げるとともに、今後の横幹事業へのご協力を切にお願い申し上げます次第である。

会誌編集委員会 椿 広計 (統計数理研究所)

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合(横幹連合)】

#### 2009年度役員

会 長	木村英紀 ((独)理化学研究所)	
副 会 長	館 暉 (慶應義塾大学)	原山優子 (東北大学)
理 事	青木克己 (東海大学)	青木和夫 (日本大学)
	大熊和彦 (東京工業大学)	太田敏澄 (電気通信大学)
	帯川利之 (東京大学)	榎木哲夫 (京都大学)
	杉江俊治 (京都大学)	高橋 進 (東海大学)
	田村義保 (統計数理研究所)	椿 広計 (統計数理研究所)
	出口光一郎 (東北大学)	西村千秋 (東邦大学)
	布川博士 (岩手県立大学)	平井成興 (千葉工業大学)
	船橋誠壽 ((株)日立製作所)	梅干野晃 (東京工業大学)
	松井正之 (電気通信大学)	山崎 憲 (日本大学)
	山中敏正 (筑波大学)	山本正宣 ((株)シグナルコンサルタント)
監 事	鈴木久敏 (筑波大学)	藤井真理子 (東京大学)

#### 2009年度 会誌編集委員会

委 員 長	青木和夫 (日本大学)	
副委員長	大倉典子 (芝浦工業大学)	
委 員	加藤象二郎 (愛知みずほ大学)	金子勝一 (山梨学院大学)
	榎木哲夫 (京都大学)	庄司裕子 (中央大学)
	杉江俊治 (京都大学)	杉野 隆 (国土館大学)
	椿 広計 (統計数理研究所)	長嶋雲兵 (産業技術総合研究所)
	奈良高明 (電気通信大学)	三宅美博 (東京工業大学)
	山田雄二 (筑波大学)	山本正宣 ((株)シグナルコンサルタント)